

高 総 第 6 1 号
平成29年6月22日

ボランティアグループ「高取町ご意見番」
代表幹事 中西宏次様

高取町長 植村家忠



公開質問状について

平成29年6月9日付けで質問のあったことについて、下記のとおり回答します。

記

○駐在所員の本署（橿原警察署）での宿直勤務について

（回答）

駐在所員の宿直勤務ローテーション化は、警察署の受け持ち地域全体の事案発生実態を勘案して行われていると理解しているので、町が積極的に関与すべきものではないと考えています。

ただし、あまりにも駐在所員の不在が常態化するようであれば、改善要望をすることも検討します。

○壺阪山駅前整備の現況と進捗状況

（回答）

壺阪山駅周辺整備については、平成24年度に協議会を設立して基本構想案を策定し、平成25年度から26年度にかけて、平成28年度までを事業期間とする基本計画を策定しました。

しかし、平成26年度に地籍等の調査を行ったところ、計画地内において、法務局備え付けの地図と現況とが一致しない土地があり、事業用地の購入のためには、まず地図の訂正が必要であることが判明しました。そのため、計画期間を平成29年度までに変更し、地図訂正の作業を開始しましたが、関係者の一部に地図訂正にご協力頂

けない方があり、計画どおり平成29年度に事業を完了することができない状況となりました。

町が事業を断念したのではないかとのご心配の声も聞かれますが、町としては、近畿日本鉄道株式会社とも連携を図り、状況によっては法的手段を採ることも視野に入れながら、平成30年度中に地図訂正を完了させることをめざしています。

また、地図訂正の作業と並行して、町にとってより有利な補助事業の模索をしながら、計画の実現に向けて取り組んでまいります。

○最先端がん医療施設誘致の進捗状況

(回答)

最先端がん医療施設の誘致については、平成28年度から30年度までの3年間で「メディカルツーリズム推進プロジェクト」として国の補助金を受け、準備を進めているところです。

現在、初期投資や運営上の収支など事業性の検証、国内外の患者に来ていただく方法の検討などを行っており、民間による施設の建設及び運営、県立医科大学放射線科のキャンパス誘致と合わせ、産官学一体での取り組みとなるよう進めています。今後、慎重に検討、準備を行ったうえで、平成37年頃の開業を目指しています。

去る5月19日に和泉内閣総理大臣補佐官と大坪内閣官房参事官が来町され、誘致予定地である健幸の森周辺地区を視察された後、県立医科大学において、私、檀原市長、明日香村長及び県立医科大学の学長との意見交換を行いました。総理大臣補佐官からは、3市町村と県立医科大学とが連携して進めていけば、このメディカルツーリズムは実現できると、期待を込めたコメントをいただきました。

※メディカルツーリズム：自国では不可能な高度医療サービスを受けることなどを目的として他国へ行くこと